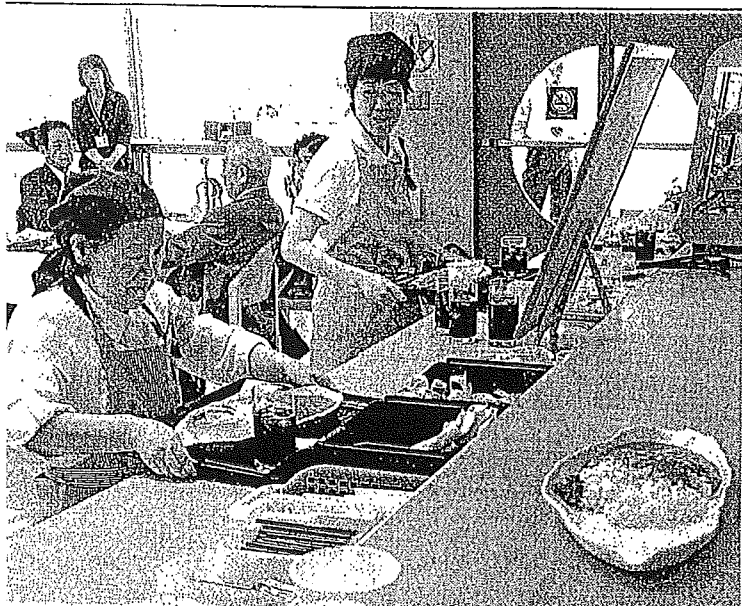


障害者支援へ 学内にカフェ

発達障害児・者の支援
に取り組む姫路独協大
(姫路市上大野七)に九
日、障害者が働くカフェ
「Cafeびあのびあ」
がオープンした。大
学が学生会館の一角を提
供し、姫路市総合福祉通

姫路独協大

園センター・ルネス花北
(同市増位新町二)が運
営する。福祉施設と大学
が協力して学内にカフェ
を設けるケースは全国的
にも珍しい。学生も巻き
込みながら、共同で障害
者のための「就労支援フ



大学内にオープンした
カフェで働く障害者ら
＝姫路市上大野七、姫
路独協大

働く場提供 地域にも開放

プログラムづくりを進め、
支援の拠点を目指す。

カフェは、約百席を設
置。知的障害者やルネス
花北の職員ら五人が、コ
ーヒーやカレールライス、
ピラフなどの軽食を提供
する。学生向けに価格を
低く抑えるほか、地域住
民にも開放する。

同大は昨年春、医療保
健学部を開設。自閉症
やアスペルガー症候群、
学習障害などの児童が増
える中、発達障害の支援
に力を入れている。カ
フェ開設はその一環。
施設内にとどまらず地域
に障害者が働く場を広
げたいと望むルネス側
が計画を持ち掛け、実現
した。

カフェの運営を通じ、
取り組みが遅れている成
人の障害者を支援するプ
ログラムの研究も進め
る。学生の実習や、ボラ
ンティアとして一緒に働
くことも検討している。

同大などは「障害者と
学生らが触れ合うことで
互いを理解し、いい意味
で刺激になってほしい」と
期待を寄せている。

(井関 徹)